

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	松戸市における安全安心で快適な都市環境の創出													
計画の期間	平成28年度～令和2年度(5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	松戸市													
計画の目標	下水道未普及地区の解消を実施することにより、安全で快適な都市環境を創出する。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		2,235	A	2,235	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)
1	未普及地区において174.5ha整備することにより、普及率を84.5%(H28当初)から88.5%(R2末)に増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人) / 行政人口(人)	85%	87%	89%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等に関連する整備計画と一体的に実施する。

※当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。

A 基幹事業														上段：計画		下段：実施			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	松戸市	直接	松戸市	管渠(汚水)	新設	古ヶ崎・前田汚水幹線整備事業	汚水管 φ300～800mm L=2,482m	松戸市		■	■	■	■	1,261	—	
	A07-002	下水道	一般	松戸市	直接	松戸市	管渠(汚水)	新設	北山汚水幹線整備事業	汚水管 φ400mm L=721m	松戸市		■	■	■	252	—		
	A07-003	下水道	一般	松戸市	直接	松戸市	管渠(汚水)	新設	日暮第1号汚水幹線整備事業	汚水管 φ300mm L=130m	松戸市		■			84	—		
	A07-004	下水道	一般	松戸市	直接	松戸市	管渠(汚水)	新設	総台・串崎新田汚水幹線整備事業	汚水管 φ200mm L=429m	松戸市		■	■	■	145	—		
	A07-005	下水道	一般	松戸市	直接	松戸市	管渠(汚水)	新設	大橋第3号汚水幹線整備事業	汚水管 φ250mm L=290m	松戸市				■	136	—		
	A07-006	下水道	一般	松戸市	直接	松戸市	管渠(汚水)	新設	江戸川左岸処理区枝線整備事業	汚水管 φ200～250mm L=34,737m	松戸市	■	■	■	■	■	6,920	—	
															小計		8,798		
															合計		8,798		
																	8,399		
																	8,399		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
<ul style="list-style-type: none"> 松戸市建設部公共事業の事後評価実施要項および下水道事業の事後評価実施要項細目に基づき、松戸市建設部において事後評価を実施。 	令和3年10月
	公表の方法 松戸市ホームページに公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 幹線および枝線の整備を進めることにより、衛生的で快適な生活環境を整えることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> 市内全域の水洗化率も、「下水道を利用できる人口(人)」増加とともに増加している。

○特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> 江戸川左岸処理区および手賀沼処理区における汚水幹線および枝線整備を行い、下水道未普及地区の解消を推進していく。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率	
	最終目標値	89%
	最終実績値	87%
	目標値と実績値の差異は、整備計画策定時に推定したR2行政人口(481,300人)に比べ、実際の行政人口(498,318人)が増加(増17,018人)したことによるもの。実績として、目標策定時の下水道を利用できる人口(426,152人)より、実績(434,736人)は上回る(増8,584人)結果となっている。	